

# 津波を知る

自己学習用プリント・基礎編

## 問題 (空欄に記入しよう)

### Q.1

地震が  で起きると、津波が発生することがある。

- ① 陸地
- ② 海底
- ③ 火山

### Q.2

津波の速さは、陸地付近では、 と同じくらいの速さで進む。

- ① 歩く速さ
- ② 子どもが走る速さ
- ③ オリンピック選手が走る速さ

### Q.3

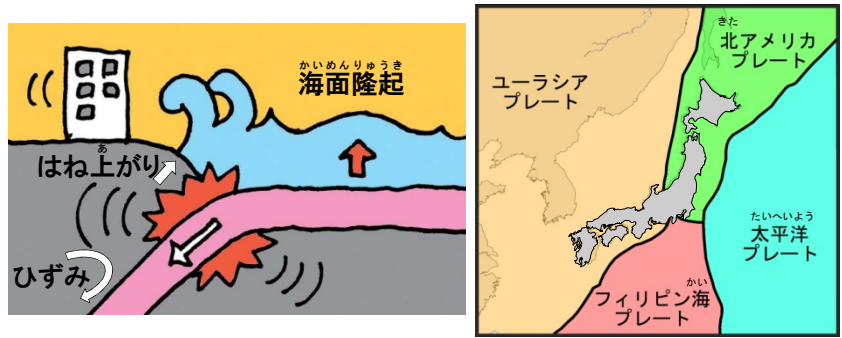
津波は速くてその力がとても強いので、 の高さになると立っていられなくなる。

- ① 膝くらい
- ② 腰くらい
- ③ 胸くらい

## ポイント

### 津波のメカニズム

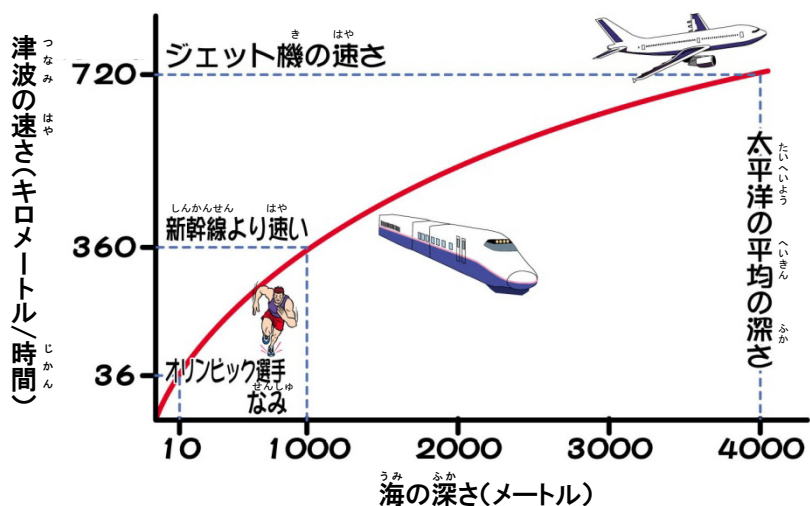
日本列島の下にあるプレートが押し合って、一方がもう一方の下に潜り込んで元に戻ろうとするときに海底で地震が起き、そのときに海面が押し上げられて津波が発生します。



### 津波の速さと力

津波の速さは海が深いほど速く、深いところではジェット機なみの速さとなるため、遠くで発生した地震であっても、短時間で陸地に到達することがあります。津波は、陸地付近でもオリンピック選手が走る速さと同じくらいの速さで進むので、津波が来てから避難しては間に合いません。

また、津波の高さが膝くらいの高さになると、人は立ってられず、避難できなくなってしまいます。



Q.4

津波は、最初に来る波(第1波)が最も高く、以降、第1波より高い波が来ることはない。

○か×か?

Q.5

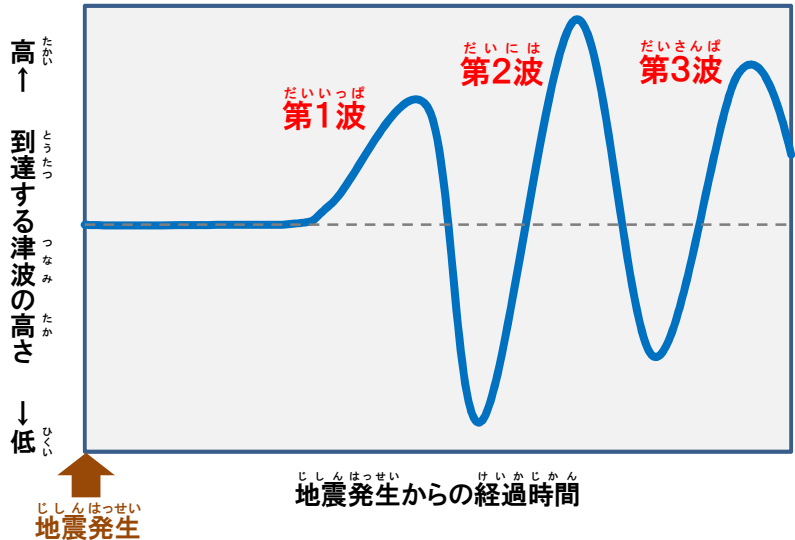
複雑な地形である三陸海岸(岩手県)では、津波の波が高くなりやすい。

○か×か?

津波の特徴

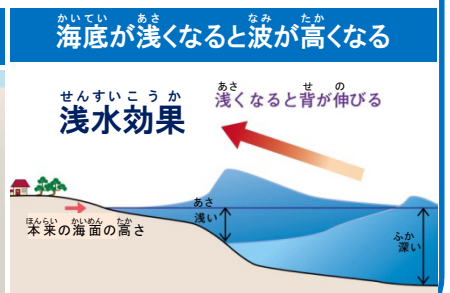
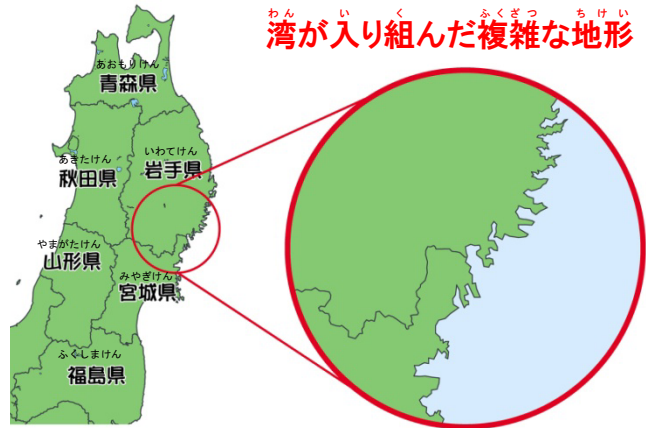
津波は、最初の波(第1波)が一番高いとは限らず、後から繰り返し襲ってくる波が、より高い波になる場合があります。最初の波が引いたからといって、海岸に近づいてはいけません。

また、津波は引波から始まるとは限らないため、引波を見ようと海岸に近づいてはいけません。



複雑な地形である三陸海岸では、湾の奥で波が高くなる『集中効果』と、海底が浅くなると波が高くなる『浅水効果』によって、波が高くなりやすいという傾向があります。

リアス式海岸  
湾が入り組んだ複雑な地形



## いわてけん つなみ 岩手県の津波

### Q.6

いわてけん ひがしにほんだいしんさいいぜん  
岩手県では、東日本大震災以前  
に大きな津波被害の経験がな  
かったため、東日本大震災の  
津波では大きな被害となった。

○か×か？

いわてけん  
岩手県では、これまでに、明治三陸大津波（明治29年6  
月）、昭和三陸大津波（昭和8年3月）などの大きな津波被害  
を経験しています。



過去の津波の痕跡（宮古市田老町）



昭和三陸大津波による被害の様子（現 洋野町種市地区）

### Q.7

じしん ゆ ちい  
地震の揺れが小さければ、大き  
な津波が来る心配はない。

○か×か？

めいじさんりくおおつなみ めいじ ねん がつ  
明治三陸大津波（明治29年6月）において、岩手県沿岸部  
では震度2の揺れでしたが、津波の最大高さは38メートル  
となりました。このように、地震による揺れが小さくても、  
大きな津波が来ることがあります。

### Q.8

いわてけん こんご ひがしにほん  
岩手県では、今後、東日本  
大震災の津波より大きな津波  
が来ることはない。

○か×か？

かご ひがしにほんだいしんさい つなみ おお つなみ き  
過去には、東日本大震災の津波よりも大きな津波が来たこ  
とがあります。ですから、今後も、東日本大震災の津波より  
大きな津波が来るかもしれません。今まで津波の被害がなか  
ったところでも津波が到達するかもしれませんので、地震が  
起きたら避難することが大切です。



## 津波からの安全な避難

### Q.9

地震が起きたら、津波がくることを予想し、へ避難することが大切です。

- ① ただちに家の中
- ② ただちに広いところ
- ③ ただちに高いところ

地震が起きたら、津波が来ることを予想し、**ただちに高いところ**へ避難することが大切です。



東日本大震災の際、釜石市鵜住居地区の小学生や中学生は、地震の後、津波が来ることを予想し、ただちに避難を始めました。



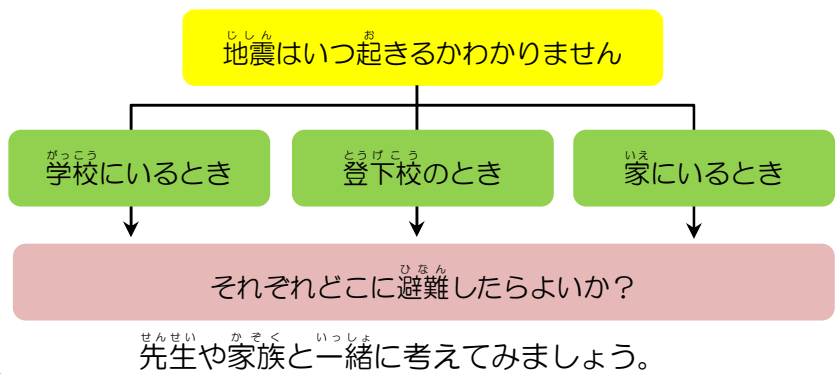
避難場所に着いた後もより高い場所、より高い場所へと避難を続け、津波から身を守ることができました。

### Q.10

津波の防災意識を高める標語である「津波でんでんこ」とは、津波が来たら、教えることをいう。

- ① てんでんばらばらにでも避難する
- ② 津波が来ていることを伝え合う
- ③ 津波の様子を見に行く

一人ひとりが自分の命を守るために、**てんでんばらばらにでも避難する**ように日頃から備えておくことが大切です。そのことが、周りの人の命を救うことにも繋がります



### 問題の解答

- Q1. ② Q2. ③ Q3. ① Q4. × Q5. ○  
Q6. × Q7. × Q8. × Q9. ③ Q10. ①



黄金の國、  
いわて。

お問い合わせ: 岩手県 県北広域振興局土木部河川港湾課  
〒028-8042 岩手県久慈市八日町 1-1 (久慈地区合同庁舎)  
電話 0194-53-4990